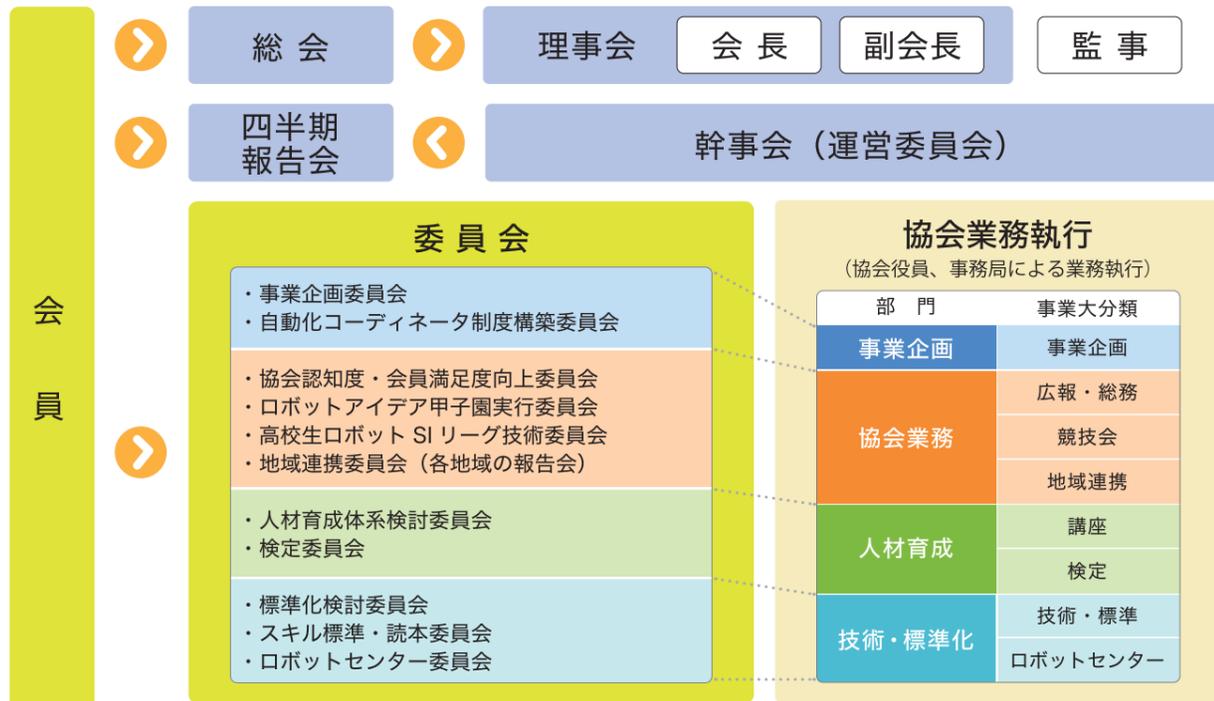


協会組織図



新設 4部門 (主な事業・WGなど)

<p>事業企画</p> <p>事業企画事業 協会会員の事業基盤の強化につながる事業 「プロセスガイドラインWG」「協会主催展示会WG」 ロボットFA関連商品説明会/学生向け展示会の開催 自動化コーディネータ認証制度・講習制度の構築</p>	<p>人材育成</p> <p>講座事業 若年層・エンジニア対象講座など各種講座企画 「講座運営WG」「DX基礎講座WG」、その他講座/講師の養成 検定事業 「1～3級検定試験実施WG」「試験問題作成WG」 「エキスパート試験実施WG」などレベル別検討・実施</p>
<p>協会業務</p> <p>広報・総務事業 協会の魅力発信、会員の満足度向上と、若年向け認知度向上、「セミナー検討WG」会員限定セミナーの企画 競技会事業 「ロボットアイデア甲子園」「ロボットSIリーグ」主催 地域連携事業 全国各地のSler's Day開催/地域連携促進事業</p>	<p>技術・標準化</p> <p>技術・標準化事業 SIに関するハード・ソフトの標準化の検討 「操作盤WG」、スキル標準改訂・読本作成、技術セミナー企画 ロボットセンター事業 「教材作成WG」「力量基準策定WG」 ロボットセンター運営や、安全教育について検討</p>

入会ご案内

正会員	会員資格	システムインテグレーション業を営む法人及びこれらの者を構成員とする団体。 ※Sler業3年以上、Sler関連の昨年度売上1000万円以上の企業が基準(理事会判断)
	会費	300,000円/年 ※資本金1,000万円以下かつ従業員20人以下の企業は、入会から2年間は会費半額。 国際ロボット展・RoboNextなど展示会出展料の割引があります。
協力会員	会員資格	正会員に該当しない者であって、本協会の目的に賛同し、その事業に協力しようとする法人及びこれらの者を構成員とする団体。
	会費	200,000円/年 ※協力会員にはSler協会議決権はありません。また、享受できるサービスの範囲に制限があります。

入会お申し込み
お問い合わせ

URLまたはQRコードより様式をダウンロードし「入会申込書」「入会申請書」に必要事項を記入し、「暴力団排除の誓約書」に署名し、会社案内(パンフレット)及び決算報告(二期分)を添付の上、協会事務局あてにご郵送ください。
※事前にメールでご連絡ください。
年度の途中入会については会費の月割掲載が適用されます。そのほかご不明点はメールなどでお問い合わせください。
<https://www.jarsia.jp/admission.html>



FA・ロボットシステムインテグレータ (Sler) は、
ロボットをはじめとする自動化装置を扱うエキスパートです。

設立趣旨

本協会は、ロボット・FA(Factory Automation)システムの構築などを行うシステムインテグレータ(以下「Sler」という。)の共通基盤組織として、Slerの事業環境の向上及び能力強化に取り組み、Slerを取り巻く関係者間の連携を促進させることにより、あまなく産業における生産活動の高度化を推進し、我が国の産業の持続的発展と競争力の強化に寄与することを目的とします。
2023年6月1日より「一般社団法人日本ロボットシステムインテグレータ協会」として、積極的な活動を行っています。

事業方針

- Slerを中心としたFA・ロボット業界ネットワークの構築**
 - Slerを中心とした全国規模の情報ネットワークの確立
 - Slerの受注機会の拡大や、ユーザー要望に対してベストフィットソリューションを提供できるSlerとのマッチングの実現に向けた受発注ネットワークの構築
- Slerの事業基盤の強化**
 - Slerの経営基盤や事業環境の向上に向けた、Sler間の協業体制の構築や業界標準の制定、人材確保支援等
- システムインテグレーションに対する専門性の高度化**
 - FA・生産システム及びそのインテグレーションに対する専門性を強化するための、技術・安全講習を通じた人材育成や教材開発
- 次世代を担う人材に対するSlerの認知度向上**
 - ロボットSlerを若者が憧れる職業へ
- 各地域との連携の構築**
 - SI業界の発展のみならず自動化業界(ロボット業界)全体の発展の牽引者へ
- デジタルを用いたロボットSI教育システムの構築**
 - サイバーフィジカルシステムで、日本を世界一の自動化大国へ



(一社) 日本ロボットシステム インテグレータ協会 活動の紹介

高齢化などに起因する労働者不足は世界的な課題となっています。ロボット導入をはじめとした自動化による省力化は、その解決策として、今後ますます需要が高まっていくことと思われます。

ロボットに命を吹き込む「ロボットSler」は、その重要な役割を担っています。2025年度、(一社)日本ロボットシステムインテグレータ協会は、より効率的な活動のための組織改編を行いました。

新設4部門では、各種委員会活動の下、事業方針に沿った事業を展開しています。業界ネットワークの構築や、SI事業を営む企業の事業基盤強化につながる活動とともに、ロボットSI人材の能力強化と育成にも取り組んでいます。また、未来のロボットSI人材となりうる若年層をはじめ、広く「ロボットSler」という職業を知ってもらうための認知度向上活動にも力を入れています。これらの注力事業・活動についてご紹介します。

Sler
Japan Robot System
Integrator Association

Slerを中心としたFA・ロボット業界ネットワークの構築

ロボットシステムインテグレータ向け「ロボットFA関連商品説明会」の開催

Sler協会会員をはじめ多くの業界関係者へ向け、SIに役立つ製品や技術、サービスを紹介する展示イベント。実機やモニタを使った小規模展示会は効率よく商談が可能。業界交流の交流機会として人気のイベントです。年間2回、関東・中部・関西を巡回して開催中。

詳細はこちらから
<https://jarsia.jp/new-item/>



Sler検索機能/自動化相談

所属会員企業の検索・マッチング機能。Sler検索は、会員が自社情報を編集し公開可能。会員同士では専用ページから得意分野などを検索し協業につながる相互検索システムや協業依頼の機能を運用中です。また「自動化相談ページ」では、一般からの自動化の相談を受け付け、会員へつなぐマッチング機能も搭載。また地域専用の相談窓口なども公開中。

自動化相談ページ
<https://www.jarsia.jp/consul.html>

会員企業ハンドブック公開

会員企業全社の情報を掲載した一覧冊子です。設立当初から変わらないデザインで、展示会でも人気の冊子。地域別に掲載しており、各社の特徴や連絡先も掲載しています。協会ホームページから最新版のダウンロード閲覧が可能です。



ハンドブックWEB公開はこちらから
<https://www.jarsia.jp/doc/handbook/Handbook20260401.pdf>



次世代を担う人材に対するSlerの認知度向上

高校生ロボットシステムインテグレーション競技会(SIリーグ)

全国各地から出場する高校性チームに、ロボットSler企業が8か月間伴走し、ロボットシステムを構築する競技会です。競技課題に合わせてロボットシステムを作り上げます。高校生がここまでできる！という驚きの結果が待っています。

詳細はこちらから
<https://sileague.aichi.jp/>



大学生向け技術展示会/特別授業の開催

大学の施設を利用しロボットシステムを展示するイベントを企画・開催。現役の大学生がロボットを間近で見学、体験できます。出席企業と学生の交流会も好評です。特別授業でロボットSlerの魅力を伝える講義も実施し、学生に直接語りかけることで魅力を伝えます。

ロボットアイデア甲子園

高校生や高専生などを対象に、産業用ロボットの新しい使い方を考えてもらうコンテスト。全国の会員のロボットセンターなどで地方大会を開催し、実機見学からアイデアを考案、優秀アイデアは、プレゼンテーションで競います。詳しい知識がなくても参加可能。まずはロボットの面白さに触れてもらいます！地方大会優勝者は12月の全国大会へ出場します。

詳細はこちらから
<https://robotkoshien.jp/>



マンガや動画の活用

リクルート活用マンガを作成し公開、配布中。大学生向け「マンガでわかる！ロボットSler」、高校生向け「ロボットSlerってなんだ?!」の2版があります。また、協会のYouTube「ロボットSler」チャンネルでは、各種動画を公開中。Slerの活躍するドラマシリーズから、アイデア甲子園レポ動画など盛りだくさん！

マンガWEB公開版
<https://jarsia.jp/news/220612.html>

YouTube
ロボットSlerチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UC34QuVj6tLuLq_hc04XM4Xg



Slerの事業基盤の強化

プロセスガイドライン検討/採用強化への取組み

ロボットシステムインテグレータ企業の事業基盤強化のため、様々な検討を実施。主に、商習慣に係るプロセスについて現状把握と改善への方策を検討中。また人材確保や採用に係る課題に取り組み、専門家によるセミナーや、各種勉強会などを企画、開催しています。

SI統計

会員企業(正会員)対象に、毎月のロボットシステムの売上げに係る各種データを収集、市場動向の把握や、経営戦略に有益な統計データの集計・分析を行っています。毎年通常総会にて会員向け速報データを公開します。

ロボットセンター委員会

ロボットセンターを活性化させ、ロボット導入を促進するための議論を行っています。また、安全特別教育の内容の見直しや、実施方法のガイドライン作成なども行っています。

システムインテグレーションに対する専門性の高度化

ロボットSI検定

ロボットシステムインテグレーション(SI)を行う上で必要な知識習得や技能習熟レベルを測定するための検定試験。SI検定2級、3級試験を一般向けに実施中。2級は実務経験3~5年の方向けで、タイなどへ海外展開も実施中。3級は主に工業高校生などを対象とした初級。1級は現在、実施に向けて準備中。この他、実務10年以上の方向けエキスパート検定も実施しています。



詳細はこちらから
<https://www.si-kentei.com/>

ロボットSI基礎講座

産業用ロボットを取り扱う、ロボットSI人材の入門編として、ロボットSlerの担う役割を広く学習できる講座。これからロボットSlerを目指す新入社員や、ロボットシステム拡販などの営業担当者、また学生など若年層向けに構成された内容です。講義テキスト上下巻も整備、WEB開催や地域依頼版講座も実施し、講師養成にも取り組んでいます。



詳細はこちらから
<https://jarsia.jp/kisokoza/>

Sler技術セミナー

ロボットシステムインテグレータにとって、日々進化する技術や情報の取得は大変重要です。会員向けに、最新の技術やロボットSIに係る知識取得の機会を提供します。会員の皆様が抱える課題の解決や、SI能力向上のヒントになるような技術セミナーを企画・開催します。

デジタルを用いた ロボットSI教育システムの構築

デジタルを活用した 新たな教育の検討

シミュレーションを活用したロボット教育の提案を行っています。また、フィジカルAIの時代に合わせた新たなSIに必要な教育に関する検討や、DX基礎講座の開催なども行っています。



会報誌「JARSIA」発行

協会活動報告。年2回発行。協会行事の報告や会員による協業情報、技術寄稿。Sler川柳や随想録など人気コンテンツも掲載中

詳細はこちらから
<https://jarsia.jp/jarsiadl.html>

各地域との連携の構築

Sler's Day開催

全国10地域でセミナーイベントを開催中。地域の会員企業を中心に周辺企業や地域行政、教育機関との連携強化を目的とし、各地のロボット導入・利活用促進に寄与します。開催地域の特色を活かし見学会や勉強会などを開催。会員以外も自由に参加でき、貴重な交流機会として評価されています。

地域政策研究会の開催

行政関係者(地方経済産業局や都道府県、市区町村、その他支援機関など)により、各地のロボット関連施策の動向や、支援策情報の共有などを行います。



詳細はこちらから
<https://www.jarsia.jp/siersday/>

展示会出展

各地のロボット関連展示会に出展。会員ブースに協会の旗を掲示し、認知度向上を図ります。また展示会セミナーは会員企業が登壇し企業紹介や事例発表を行い好評です。

